

「お薬師さん」のおひざもと

新井薬師。プチ歴史探訪

毎年の初詣、皆様はどうに行っていますか？やはり「新井薬師」と答える方が多いのでは？今回は、「お薬師さん」として親しまれている中野区最大規模の寺院「新井薬師」と新井のまちの歴史について調べてみました。



【成り立ち】「新井薬師」は通称。正式には「新井山 梅照院(しんせいさんばいしょういん)」と号している真言宗豊山(ぶさん)派のお寺です。1586(天正14)年、二仏一体の「ご尊像(薬師如来と如意輪観音)が梅の古木の中より現れ、その後それを祀るため御堂を建立したのがはじまりといわれています。

御本尊は秘仏であるため、御開帳は寅年に限られます。次に見られるのは2022年(来年です！)。新井薬師は「治願薬師」「子育薬師」としても知られ、「利益がある」とされています。

【豆知識その1】1617(元和3)年第五代玄鏡(げんきょう)住職が、夢枕より薬師如来から授与された法軌(薬

の処方箋)を夢想丸(むそうがん)と呼び、当時多くの子どもたちの難病が治理ました。このことから子育薬師と呼ばれるようになりました。

【豆知識その2】隣接する新井薬師公園は新井薬師梅照院の元境内地で、現在は中野区の公園です。水堀離場(修行場)であった場所です。

縁日に執り行われる厄除けの護摩祈願法要、2月の節分会、4月の花まつりなど多彩な行事が開催されています。※新型コロナウイルス感染症拡大予防に伴う変更や制限の可能性がありますので、詳しくは公式HPをご確認下さい。



【行き方】最寄り駅は西武新宿線新井薬師前駅。改札を出てバス通りを中野方面に徒歩5分。JR中野駅から行く場合は、北口から関東バスに乗り、「新井薬師梅照院前」か「北野神社」で降り徒歩1分。散歩を楽しみたい方には、中野サンモール・プロードウェイから新井薬師の参道である薬師あいロード商店街経由で行くルートもあり。

新井薬師前駅は1927(昭和2)年開業。当時の路線名は、高田馬場から東村山を結ぶ「東村山線」でした。

中野駅の開業は1889(明治22)年。当時は「甲武鉄道」の駅でした。2駅の開業で新井薬師へのアクセスが良くなり、にぎわいを増すようになりました。

【豆知識その3】新井薬師前駅の近くには、大正から昭和にかけて法政大学のグラウンドがあり、東京六大学野球の試合が行われていたそうです。

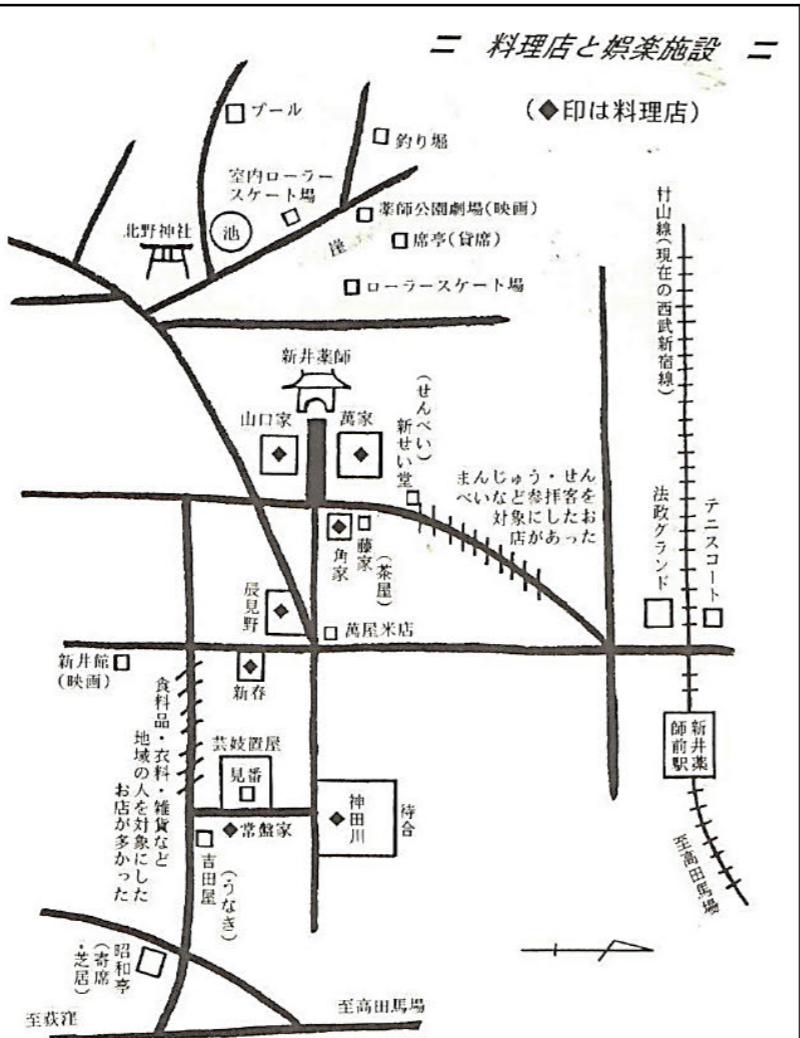


写真上:1960年代頃の新井薬師前駅 写真提供:西武鉄道 写真下:現在の新井薬師前駅(工事中)

※この記事は上高田図書館が作成しました。



写真上:昭和30年頃 手古舞(てこまい)お練り行列 あいロードの様子(「ちょっとまえのあらい」より)
※手古舞:山車や神輿の前を練り歩く男装の女性のこと。
写真中:現在の薬師あいロード商店街
画像右:「ちょっとまえのあらい」掲載の「昭和はじめのお薬師さま周辺」(新井のまちで永年暮らしてこられた方々のお話をもとに作成した地図です。)



【豆知識その4】新井の花柳界が全盛期を迎えた昭和初期には、待合茶屋が25軒、芸妓屋40軒、芸妓136人を数えるほどの賑わいを見せていました。広津和郎の小説「訓練されたる人情」は、当時の新井の花柳界に生きる女性を主人公にした作品です。

【豆知識その5】近隣の薬師あいロード商店街は、新井薬師が眼病に「利益があること」(目=イエイ=アイ)と、愛(LOVE)にちなんで名づけられました。

【最後に】いかがでしたか？訪れたことがある方はもう一度、まだの方はこの機会に是非、お散歩してみませんか？その際は新井薬師前駅から徒歩約5分の上高田図書館へもお立ち寄りを！この記事の参考とさせて頂いた貴重な地域資料をはじめ、6万点以上の蔵書を取り揃えてお待ちしております。心地良い陽射しが注ぐ館内で、しばしの読書時間をお楽しみ頂ければ幸いです。

主な参考資料
『新井・上高田 中野区民俗調査第2次報告』(中野区教育委員会／編集・発行、1999年、所蔵:全館)
『ちょっとまえのあらい』(中野区新井地域センター／編集・発行、1994年、所蔵:中央、上高田、東中野、南台、江古田、鷺宮)
『なかの史跡マップ』(中野区教育委員会、山崎記念中野区立歴史民俗資料館／編集・発行、2002年、所蔵:全館)
『日本文学100年の名作 第2巻 幸福の持参者(広津和郎作「訓練されたる人情」収録)』(新潮社／発行、2014年、所蔵:中央)
新井山 梅照院 HP <https://www.araiyakushi.or.jp/>
西武鉄道 HP <https://www.seiburailway.jp>
薬師あいロード商店街 HP <https://www.ai-road.com>